



北ひろしま福祉会

障がい者支援事業所要覧

わたしたちはすべての人の幸福のために 地域福祉を推進する役割を担います

すべての人

わたしたちと関わるすべての人です。全世界の人々というニュアンスではなく、わたしたちが手を広げて届く範囲で関わるすべての人をイメージしています。

その中で対象者を限定して関わることなく、“排除する人をつくらない”というメッセージが込められています。

地域福祉の推進

制度によるサービスを利用するだけでなく、地域の人と人のつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていきます。

◆
法人理念に込められたメッセージ
◆

幸福(しあわせ)

幸福と書いて“しあわせ”と読みます。

幸福(しあわせ)とは、長期にわたって続く幸福感。しあわせとは、ふっとした瞬間に感じるもの。

まずは、“ささやかなしあわせ”を感じられるような取り組みから、はじめていこうと考えています。

役割を担う

全部自分たちだけがやるのではなく、地域が主体となって活動できるように働きかけていきます。

そして、そのチームの一員として力を発揮したい。



北ひろしま福祉会 沿革

昭和24年(1949年)10月

- 10月1日富ヶ岡学園開設(知的障害児施設・定員65名)

平成4年(1992年)4月

- 北広島デイセンター開設
(知的障害者通所更生施設定員30名 国庫補助事業)

平成15年(2003年)4月

- 法人名 社会福祉法人北ひろしま福祉会に変更
- 支援費制度による事業開始

平成18年(2006年)10月

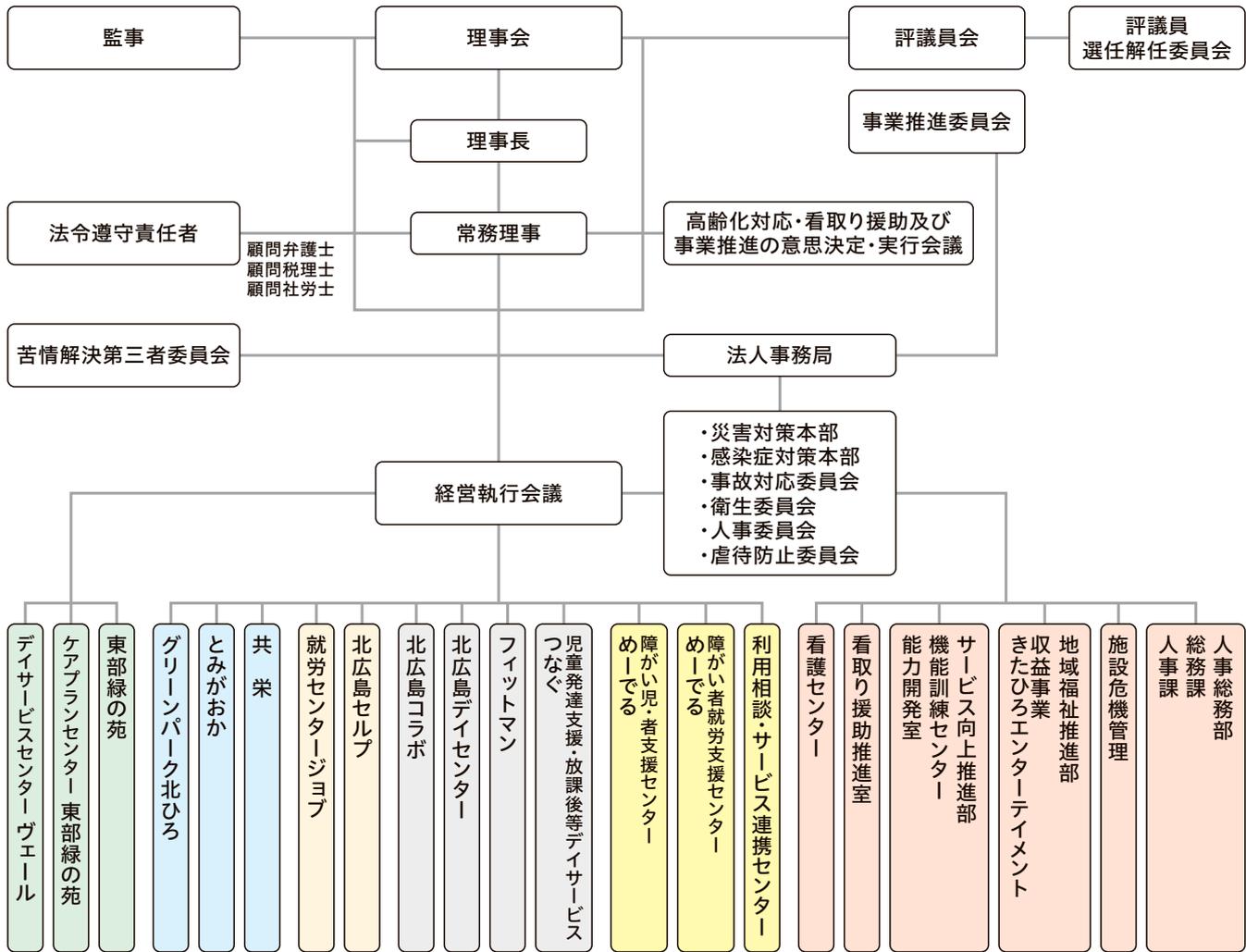
- 障害者自立支援法施行により、一部を新事業体系へ移行
- 北広島市地域生活支援事業「日中一時支援」「移動支援」サービスを開始

平成20年(2008年)4月

- 法人内事業所全てを新事業体系へ移行
- 相談支援事業所「めーでる」を市内美沢に開設
- 就労センタージョブ(多機能型事業所)を市内共栄に開設
- 北広島デイセンター(多機能型事業所)を市内共栄に開設
- 地域支援センター「グリーンパーク北ひろ」を開設

平成21年(2009年)4月

- 北広島セルフ 開設



平成23年(2011年)4月

○居宅介護等事業所フィットマン 開設

平成25年(2013年)4月

○ふれあいステーションほっと(共生型事業)を開設し
運営委員会が管理運営を始める

平成25年(2013年)8月

○ケアプランセンター東部緑の苑 開設

平成26年(2014年)5月

○東部緑の苑 開設

平成26年(2014年)7月

○デイサービスセンターヴェール 開設

平成30年(2018年)4月

○指定特定相談事業所 相談室ここに 開設

平成31年(2019年)4月

○児童発達・放課後等デイサービスつなぐ 開設

令和元年(2019年)10月

○創立70周年を迎える

令和3年(2021年)12月

○就労センタージョブ 移転

令和4年(2022年)4月

○北広島コラボ 開設

令和6年(2024年)4月

○相談室ここに、相談支援事業所めーでると統合
障がい児・者支援センターめーでるに変更

居住支援

指定障害者支援施設
(施設入所・生活介護・短期入所・日中一時)



とみがおか

自閉症や行動障がいの方が多く生活しており、利用者様一人ひとりの意思や思いを反映させて個別支援計画を作成し、支援しています。
どのような障がいがあってもよこびがあふれる生活を送れるよう生活・医療・栄養・機能訓練の専門スタッフと連携して支援します。

利用定員 施設入所・生活介護80名、短期入所(男性2名、女性2名)

このような支援をしています

利用者様やご家族からの信頼獲得を最大の目標としています。利用者様が心身ともに生き生きとした生活を送れるように、本人の意思や思いに沿った支援を基本とし、食事や入浴、健康管理の支援を提供しています。

衣



自分で選ぶ、決めるがあふれる毎日。

食



作る、食べる、楽しむが詰まった食事の提供。

住



自分の趣味を最大限に生かせる居住空間。

生活介護サービスについて

一人ひとりの生活が豊かな生活となるよう本人の意思を尊重した日中活動を行っています。

健康



散歩など身体を動かす活動や機能訓練センターで器具を使って身体を動かします。
特殊浴槽を導入し、安心できる入浴環境を整えています。

畑



畑作業を通して四季を感じながら栽培から収穫をしています。

地域



公園管理や農福連携を通して地域と共同していきます。

●意思決定支援

意思決定支援として、利用者様の思いを大切にし、その方のしたいことや行きたい場所などを聞き取っています。意思形成に必要な経験に対する支援も都度実施し、より本人の希望に沿った生活を送れるよう、日々支援させていただいています。利用者様の笑顔をより多く見られるきっかけになります。このような支援を実践集として毎年作成しています。



短期入所サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、夜間を含む短期間の施設利用で食事・排泄・入浴等の介護、個別の目的に応じた生活支援を提供します。

日中一時支援サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、介護や支援を必要とする方へ日中の生活支援を提供します。

居住支援

指定障害者支援施設
(施設入所・生活介護・短期入所・日中一時)



共栄

生活している利用者様の平均年齢が50歳以上と、高齢期を迎えられた方も多く利用されています。

加齢と共に起こる身体状況の変化に、支援、医療(看護師)、栄養(管理栄養士)、身体機能(PT)と多職種で個々の暮らしを支えています。

住み慣れた環境で、いつまでも楽しく暮らして頂けるように、利用者様一人ひとりの人生の最期まで生ききる事のサポートを目指している事業所です。

利用定員 施設入所・生活介護75名、短期入所(男性2名、女性2名)

このような支援をしています

利用者様やご家族の意向を尊重し、仲間達と共に自分らしい暮らしを送ることを目標としています。加齢や疾病により老いを感じながらも“今出来る事”を大切に、一人ひとりに必要なサポートを、福祉器具や専門的な介護技術(ノーリフトケア)を駆使して、心地良い介護を基本とした支援を提供しています。

●安心・安全な暮らしの支援

通院や買い物の付き添い、管理栄養士が栄養バランスを考えたメニューを作り、個人に合わせた食形態での食事提供、利用者様の暮らしの中で生まれる意思形成、自己選択を大切に支援しています。



●福祉器具や介護技術を活用した支援

浴槽に入る際のリフトや、大浴場へ入ることが難しい方のために、個別浴槽を完備し気持ちよく入浴をサポート。介護を受ける側も、介護をする側も双方に負担の少ない、ノーリフトケアを活用した、移動や移乗も安心・安全な環境で入浴できます。



●生活介護サービスについて

日々の活動の中で、楽しみながら、適度な運動を行い“今出来る事”を維持します。

館内でも運動できる器具を使った、ペダルエクササイズ、トランポリン、ルームランナー



●特別なひと時/ 特別な時間を個別に演出

暮らしの中で、“一人ひとりの願い”“最高の時間”を形にする為に、利用者様と一緒に作りあげていく個別支援計画を大切にしています。



思い出に残る誕生日



皆で米寿のお祝い



自分で行う達成感のある活動参加



短期入所サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、夜間を含む短期間の施設利用で食事・排泄・入浴等の介護、個別の目的に応じた生活支援を提供します。

日中一時支援サービスについて

家庭で介護にあたる方が病気やその他急用等の場合に、介護や支援を必要とする方へ日中活動の場を提供します。



居住支援

指定共同生活援助事業所
(介護サービス包括型・短期入所・体験利用)



グリーンパーク北ひろ

障がいのある方が、自律した日常生活を送ることができるように
基幹的な事業所として、専任のスタッフが
生活支援及び就労支援等をしています。

利用定員 共同生活援助129名 短期入所(男性2名、女性1名)、体験利用(1名)

ホームの特徴

ご本人の“できる”“なりたい(したい)”という想いと、挑戦していく思いを最大限に広げられるよう支援します。
(ご本人のステップに合わせた住環境と支援体制の提供)
各ホームごとに町内会へ加入し、地域の方々との“つながり”を築いていくことを重視して支援しています。

このような支援をしています

各ホームでの交流

月に一回程度、各ホームの利用者様同士でイベントを企画し、ホームパーティーや外食等を実施しています。
・鍋パーティー・カラオケ・温泉外出等



健康管理について

通院等に、職員が付き添いを行います。
・薬の管理、塗布等 ・地域訪問医療との連携
・所見の確認、入退院の手続き
・感染症蔓延時の看護師による体調管理

行政手続き

必要に応じて各種申請のお手伝いを行います。
・障がい福祉サービス・療育手帳 ・障害基礎年金関係
・成年後見制度等の手続き

一人暮らしに向けたサポート

グループホームから一人暮らしに移行する方をサポートします。
相談支援事業所や就労先との連携もお任せください。



年齢を重ねても利用できるグループホーム

障がい福祉サービスと介護保険サービスの併用で、より快適な生活を。

就労の支援

一般企業等で就労をされている利用者様と契約に基づき就労定着支援を行います。
・定期的な企業訪問・個別面談・企業交渉 等

ほんの一例ですが、このように利用者様が
ご本人らしく社会生活を送ることができるよう
支援をしています。



“短期入所”・“体験利用”サービスについて

“短期入所”・“体験利用”という福祉サービスをご利用いただけます。
グループホームの居住環境の体験や、ご家族の負担軽減等の役割も担っています。

将来の生活の場の1つの選択肢としてご利用ください。
グループホームのご見学は随時、承っております。
令和5年4月より短期入所(男性)が1枠増設されました。

障がい児通所支援

児童発達支援・放課後等デイサービス



つなぐ

つなぐという事業所名の由来は、子ども一人ひとりの将来へ向けて
たくさんの人や社会がつながり、子どもにとって希望に満ち溢れた将来へ
つながるようにとの想いを込めました。

たくさんの人をつなげられるような活動を事業の柱にしながら、
毎日楽しく過ごして頂けるよう多種多様な活動を用意しています。

利用定員 児童発達支援・放課後デイサービス 多機能型事業10名

活動内容

障がいのある子どもたちが自尊感情を育てながらのびのび安心して過ごすことのできる居場所づくりをすすめています。子ども期にしか味わえない、子ども期にこそ必要な遊びや社会体験、地域との交流を積極的に組み入れ、地域で豊かに生きていく力を育む活動を行っています。平日は小集団の活動と一人ひとりに合わせた活動を行い、長期の休みや土曜日にはご家族を招いてイベントを企画したり、季節に合わせた外出などを行っています。



個別活動

一人一人に合わせて、【健康・生活】【運動・感覚】【認知・行動】【言語・コミュニケーション】【人間性・社会性】の5つの領域の力を育てていきます。療育の内容や教材はお子さまの年齢や成長に合わせて作成・提供していきます。



全体活動

小集団で様々な年齢の子ども達と一緒に活動しています。子ども同士がかかわりを持ってたり、様々な想いを共感できるような環境や場面の設定をしながら活動しています。



日中活動

指定障害福祉サービス事業所(生活介護)



北広島デイセンター

色々な日中活動を提供し、利用者様の人生を豊かにすることが事業所の役割だと考えます。
「明日も来たいデイセンター」を事業所目標とし、目的を持って生きていくことの素晴らしさを『はたらく』というテーマから感じていただけるような支援をしています。

利用定員 生活介護40名

個々に合わせた日中活動のプログラム

“体力”“軽作業”“芸術”の3つの“活動”を柱とし、地域との関りを大切に「社会参加」の要素を取り入れながら、いくつかの活動種類から本人に合ったプログラムを計画し提供します。各活動にはステップアップや日常生活につながるような目的を設定し提供しています。利用者様一人ひとりが目的を持って自分の持つ能力を発揮し、自己肯定感を育み、それをやりがいや生きがいとして、豊かな生活につなげていきます。また、通常活動以外でも、“ドリームチャレンジ”と題して、利用者様の新たな強みを発見する目的で、様々な活動を経験して頂いています。

体力活動

- ・長距離歩行
- ・短距離歩行
- ・リズム体操
- ・スポーツ
- ・機能訓練 など



運動会

軽作業活動

- ・リサイクル
- ・公園管理
- ・古紙回収
- ・ペットボトルラベル剥がし など



工場見学

芸術活動

- ・音楽
- ・創作
- ・花壇活動 など



デイセンターフェスタ



創作



ハロウィン行事

自分らしく過ごせる活動室

利用者様は活動室に所属し、同じ活動室で他者を意識した関わりやそこでの役割を経験することで、「ありがとう」を贈り合う文化や自分が必要なんだという自己肯定感を育みます。事業所では5つの活動室があり、活動室毎にテーマを持って過ごして頂いています。



自分の時間を過ごせる自分のスペース



一日の予定を確認



活動室の皆と散策



皆の分のお茶を準備

事業所の特徴

送迎

北広島市近郊を送迎車で運行しています。市外の方も起点で送迎しています。

食事

厨房から出来立ての食事を提供します。アレルギーの食材はメニューに合わせて個別に対応します。

地域

北広島市は自然と都市機能が調和したところ。事業所周辺には公園やコンビニがあり、活動でも利用します。

還元金

軽作業活動で得た収入から還元金として、毎月お渡ししています。

意思決定

タブレット端末で“意思形成”“意思決定”の支援に活用します。

多職種連携

支援において、法人内の理学療法士、管理栄養士、看護師とも連携し、専門的な視点でサポートします。

事業所パンフレットもありますので、お気軽にお問い合わせください。



日中活動

指定障害福祉サービス事業所(生活介護)

北広島コラボ

利用者様が安心して通える事業所としてだけでなく、成功体験により「次も頑張ろう」「新しい事にチャレンジしたい」という気持ちになっていただけるような支援を大切にします。「すべての支援は利用者様のために」を事業所目標とし、職員一丸となって利用者様一人ひとりに全力で支援しています。

利用定員 生活介護60名



ミルト

部門目標 「今、そして未来を大切に」

重症心身障がいの利用者様に対し、個別活動プログラムを通し日々の楽しみだけではなく、作業、役割などを頑張る事で得られる達成感を大切にします。

また数年先の身体状況を見据えた身体づくりを支援する為、専門的な知識と技術の向上に努めます。

多職種や併用されている事業所、相談事業所とも連携を密にし“医療”と“介護”によるその方らしい豊かな人生を支援します。

天井走行リフトやミスト浴槽などを完備し、ノーリフトケアを推進しています。



創作活動



外気浴



感覚統合活動



ミスト浴



天井リフト

いんくる

部門目標 「らしく たのしく ほこらしく」

就労意欲がありながら、一般就労が難しい方へ作業を行う機会や生産活動の場を提供します。「はたらく」を意識して、成功体験を積み重ね達成感・充実感を生き甲斐に変え、豊かな生活を目指す『はたらく 生活介護』です。“農福連携”での農園作業や、地域のニーズに応える除草・除雪作業など作業種も豊富です。自社製品の「みつろうキャンドル」や「思い出缶バッジ」の作成など、自分らしくはたらく事に誇りを持つことを大切に支援します。

聴覚過敏の方も利用しやすい環境の個別室を4部屋完備。作業の場面や休憩時にも利用できます。



レクリエーション



みつろうキャンドル作業



除草作業



ウェス作業



個室



就労支援

多機能型事業所
(就労継続支援B型・生活介護)



就労センタージョブ

働く意欲がありながら就労する事が困難な方へ安定的な作業環境と一定の所得を保障しスキルアップを図ります。

利用定員 就労継続支援B型44名、生活介護6名



コンセプト

「食とスポーツと芸術で未来をつくる」

地域の中で必要とされる場所をつくりたい、多くの人が集まる賑やかな場所をつくりたいという思いから、わたしたちが大切にしている「食」を通じたつながり。ボールパーク構想が結びつける「スポーツ」とのつながり。そして、障がいや年齢、性別などの垣根を越えたつながりを「芸術」(文化的な活動の創造)を通して実現していきます。



就労継続支援B型 キッチン「まんぞく屋」

弁当・食事製造で自身の能力を十分に発揮し、やりがいや責任を感じながら、はたらく力を身につけます。

- 包丁を使った野菜のカット、調理、計量、盛り付け など
- 日替わり弁当、特注弁当、法人内グループホームの食事提供、法人内通所事業所への昼食提供、レストランのランチ

就労継続支援B型 パン工房「にじパン」

パンや洋菓子製造の仕事を通して、自立した心を育み、はたらく喜びを感じられる支援を実施します。

- 生地づくり、計量、袋詰め、洗い物 など
- 納品先:市内企業、くるるの杜、輪厚パーキングエリア、高校、保育園、幼稚園、学童クラブなど

就労継続支援B型 パン販売「あぐり」

販売・接客を通して、社会とのつながりや役割を感じながら、お客様に喜んでもらえる工夫とチャレンジができる場所を提供します。

- 接客、レジ対応、販売 など
- 対面販売:北広島駅構内福祉ショップ「ふゆる」、大曲地区夢プラザ内喫茶「シンフォニー」



レストラン&ベーカリー「にじのかかるところ」(就労継続支援B型)

こだわりの食材を使って、安心して食べていただけるお食事とパン・洋菓子などの豊富なメニューを取り揃え、カフェとしても十分に楽しんでいただける場所になっています。そして、そこに“アート”のある空間をつくり出し、皆様の心を豊かに活力のあるものにしていきます。『にじのかかるところ』という店名には、“たくさんの人たちとの出会いやつながりを大切にしたい”“虹のようにほっこり笑顔にさせてくれて、なんだかしあわせな気持ちにさせてくれる”。そんな場所にしたいという思いを込めました。



芸術文化活動拠点「にじのあとリエ」

芸術文化活動を支援し発信する拠点として新設。絵を描いたり、縫い物をしたり、陶芸や木工など、制作が好きな人が集まって、自分のペースで活動できる場所を目指します。



就労支援

多機能型事業所
(就労継続支援B型・自立訓練(生活訓練))



北広島セルプ

「明日も行きたくなる職場」を事業所の運営方針に掲げ、ここに通うすべての皆さんが、生き甲斐とやり甲斐を得られるよう、例え時間を要してもその人らしく作業に取り組み、少しずつでも前進できるよう支援していきます。

利用定員 就労継続支援B型54名、自立訓練(生活訓練)6名

このような支援をしています

就労継続支援B型

20社以上の企業と提携を結び、多種多様な作業により、利用者様の就労ニーズに応じた作業種の提供を行います。作業をする事での達成感、充実感、満足感を育み、活気ある生活スタイルを目指します。



役割分担した箱折り作業



個別に折り込む箱折り作業



製袋室にてゴミ袋の袋詰め作業



ゴミ袋を1枚1枚数えています

自立訓練(生活訓練)

コミュニケーション力、協調性、社会性の獲得、社会スキルの向上、自己覚知に繋げる訓練を実施します。事業所内で作業訓練を行いながら、企業見学や企業体験、A型事業所・B型事業所見学を実施し、自立訓練後の進路について支援します。その他、日常生活を送るために必要な訓練や他機関との連携によるプログラム編成、スポーツや運動の体力向上訓練を行います。一般就労を希望される方への支援も実施いたします。



スポーツ練習を通したコミュニケーション力獲得



ホテルでのベッドメイキング体験



夏祭り



忘年会

在宅支援

行動援護、身体介護、家事援助、
通院介助、日中一時支援、移動支援



フィットマン

フィットマン
公式キャラクター



フィットレッド

地域にお住まいの障がいのある方々を対象に、
安心して暮らすことができるようお手伝いします。
また、放課後や勤務後に活動プログラムを提供することで、
余暇の充実を図るとともに、ご家族の就労の機会や
一時的な休息を支援します。

サービスの内容について

居宅介護等事業

身体介護	家庭に訪問し、入浴介助（清拭、洗髪）、排せつ介助、食事介助、衣服の着脱の介助等を行います。
家事援助	家庭に訪問し、調理・洗濯・掃除・買い物などの必要な家事等の援助をします。
行動援護	専門の研修を受けた職員がご本人の障がい特性に応じて外出の計画から実行まで対応します。
通院介助	定期的な通院等のため、受診等の手続きや病院内の移動等の介助を行います。



北広島市地域生活支援事業

日中一時支援	障がいのある方の余暇活動をする場の提供や支援を行います。
日中一時支援 (入浴介助)	市内に在住される、障がいのある方を対象に入浴支援を提供します。
移動支援	余暇外出や買い物、市役所等へ付き添います。

プールや温泉、映画鑑賞やカラオケ、スポーツ観戦等、ご希望の外出を支援しています。



利用受付:フィットマン TEL(011)370-1727
FAX(011)373-5598 携帯電話(080)5835-9394

利用相談

法人窓口として相談者へ寄り添います



利用相談・ サービス連携センター

ご利用者、ご家族、地域の方の声に耳を傾け、
抱えている課題や問題に寄り添った支援を考えるとともに、
希望に沿ったサービスや社会資源と結び付けられるように支援しています。

見学対応について

法人内事業所の見学調整と見学対応を行います。また、事業所の実習を通し本人の想いを実現できるよう法人全体で連携を図り対応をさせていただきます。

相談について

利用を検討されている方ならびに利用されている方の意思決定を尊重し、その方の立場に立ったより質の高い相談支援を提供します。

短期入所の受付窓口

短期入所のご依頼を受け付けています。ご利用方法につきましては、下記連絡先までお気軽にご相談ください。

相談受付:TEL(011)373-7108
FAX(011)373-8673

相談支援

障害者就労支援事業(委託)



障がい者就労支援センター めーでる

主に就労へ向けて、社会福祉士やジョブコーチの資格を持った相談員がご相談をお受けします。
住居を探すお手伝いもします。

こんなお悩みありませんか？

職場の対人関係で悩んでいる…。

履歴書の書き方が分からない…。

福祉サービスを利用する時はどんな手続きが必要なの？

転職を考えているのでサポートして欲しい…。

住む家を探しているがどうしたら良いのかな？

障がいがある方を雇用しているが、どのように関わったら良いの？

就労準備、求職活動

仕事を探すためのお手伝いをします。面接の練習や履歴書を書く練習をはじめ、ハローワークへ行くお手伝いをしています。

関係機関との連絡調整

市役所、ハローワーク、職業センター、事業主、福祉施設等と連携してアドバイスや情報提供を行います。

職場定着支援

職場内での困りごとがあれば相談してください。職場への訪問もします。ご本人だけでなく、事業主の方からの相談にも応じます。

住まいに関して

アパートやグループホームを探している方への入居に必要な調整やお手伝いをしています。

対象の方

北広島市にお住まいで、障がいのある方。
(知的障がい、精神障がい、身体障がい、発達障がい等)
※手帳がなくても構いません。
ご家族の方、事業主、関係機関の方からのご相談も承ります。まずはお気軽にご相談ください。



相談支援

指定特定・指定一般相談支援事業
指定障害児相談支援事業所



障がい児・者支援センター めーでる

社会福祉士や精神保健福祉士等の資格を持つ相談支援専門員が、障がい児・者やそのご家族からのご相談をお受けするほか、障がい福祉サービスについての情報提供や助言をさせていただきます。また、福祉サービスを利用する際は計画を作成します。

サービス等利用計画

相談支援専門員が、障がい福祉サービスの利用に必要な「サービス等利用計画」を作成し、一定期間ごとにモニタリング(評価・見直し)を行います。

相談について

まずはお話を伺いし、将来の目標やご希望される生活に合わせてサービス調整や申請手続きをお手伝いします。相談については費用の負担はありません。

機能訓練

利用者様・職員の健康、生活をサポートしています。

サービス向上推進部 機能訓練センター

理学療法士・介護福祉士・福祉用具プランナーの資格を有する職員が在籍しています。身体評価をもとに、その方に合わせた運動、ケアの提案や用具の選定を行っています。“心身のゆとりが支援の質を上げる”をモットーに、ノーリフトケア®を推進しています。



展示ブース

見て・触れて・体験出来る。福祉用具の展示をしています。専門スタッフが福祉用具の相談対応も行っています。

修理・調整

福祉用具の修理・調整は車いす安全整備士研修修了者と理学療法士が行っています。用具の貸し出しや相談対応も行っています。

遊んで運動

天候に関係なくブランコ、ボールプール、トランポリンなどで遊びながら全身運動が出来ます。地域開放も行っており、多くの方が利用されています。



ノーリフトケア®

持ち上げない・引きずらない・抱えない介護をすすめており各事業所と連携しながら、利用者様、職員双方へ負担の少ないケアの普及に努めています。出前講座など、地域の皆様に啓発活動を行っています。移乗用リフトは、使用にあたって基準を設けており、誰もが安心・安全に使用できるよう努めています。



医療的ケア

その人らしい暮らしを支えるために、医療・看護の面から健康状態をサポートします！

看護センター

法人を利用する利用者様の健康管理や地域での生活を支えるために、医療と介護のサービスが密接に連携できるよう取り組んでいます。

個別支援計画作成会議や栄養ケア、ケースカンファレンスにも積極的に参加し、健康面や医療面からのアドバイスなど、多岐に渡って利用者様のサポートをしています。

説明と同意

言葉でのコミュニケーションが難しい利用者様には写真や絵カードを活用し、説明と同意を得るよう心がけています。



排泄ケア

下剤に頼らない排泄ケアを進めるため、ポケットエコーを用い直腸にある便を確認して、不要な下剤を使用しない取り組みをしています。



医療的ケア

受診や入院が難しい利用者様に可能な限り施設内で医療的ケアを提供できるよう取り組んでいます。(点滴、経管栄養など)



看取り援助

すべての人の生ききをささえます

看取り援助推進室

人生最終章における「最善の意思決定を支援する」には、
家族との死を見据えた「いのちの相談」が必要です。

看取り援助を推進する活動体として、看取り援助推進委員会の学び・活動を深め、
事業所の「個別支援」を看取り援助で達成できるように連携して参ります。



看取り援助推進室室長 小林悦子
(生活を支える看護師の会会長)



看取り援助推進委員会

令和元年に70周年を迎えた北ひろしま福祉会は、これまでの事業活動を振り返りつつ、
法人理念である“わたしたちは すべての人の幸福(しあわせ)のために地域福祉を推進
する役割を担います”の実現に向けて培ってきたノウハウを地域に発揮する事を強く決
意し歩みを進めています。

その一つとして、令和3年度から新たな部署“看取り援助推進室”を作り、“看取り援助
推進委員会”を設置して「看取り援助ができる法人になる」ために活動してきました。

この看取り援助の取り組みは、人生を終える時期の支援でもありますが、それまでの人
生、一人ひとりの想いの実現を最期まで支援する実践と仕組みづくりを推進するた
めのものです。

“すべての人の生ききをささえます”をスローガンに掲げ、家族・関係者と共に学びを
深めてきました。そして、介護保険「特養の看取り介護加算算定要件」に準じて、障
がい者支援施設でも看取りまで支援できるようになりました。法人内の介護保険事業が
先行する高齢者の“いのち”からの学びが、この活動を支えてくれています。

引き続き、家族と「ご一緒に」の関係性を構築しながら社会の理解・協働を牽引し、障
がい者の看取りに関しての制度化も目指して取り組んでいきます。

地域福祉推進部

法人理念のもと、【みんなde】シリーズの開催や【ふれあいステーションほっと】の運営を通して、
地域福祉の推進に向け、各種の活動を展開しています。



ゴミ拾い活動



ほっとふれあいまつり



みんなdeスポーツ(公開講座)



みんなdeワクワク(昆虫採集)



みんなde介護(出前講座)



みんなde訓練(炊き出し活動)



みんなde食堂(子ども食堂)



みんなの相談室



献血活動



- 1** 指定障害者支援施設
とみがおか
 〒061-1112
 北広島市共栄276番地16
 TEL:011-372-3164
 FAX:011-372-3545

看護センター
 TEL:011-372-1750
 FAX:011-372-3545
- 2** 指定障害者支援施設
共栄
 〒061-1112
 北広島市共栄276番地8
 TEL:011-373-8671
 FAX:011-373-8672
- 3** 特別養護老人ホーム
東部緑の苑
 〒061-1112
 北広島市共栄276番地20
 TEL:011-376-8686
 FAX:011-373-8711
- 4** 通所介護事業所
**デイサービスセンター
 ヴェール**
 〒061-1112
 北広島市共栄276番地9
 TEL:011-376-7233
 FAX:011-373-3051
- 5** 多機能型事業所
就労センタージョブ
 restaurant & bakery cafe
「にじのかかるところ」
 〒061-1112
 北広島市共栄276番地44
 TEL:011-373-4896
 FAX:011-373-9179
- 6** 多機能型事業所
北広島セルブ
 〒061-1113
 北広島市共栄町4丁目1番地12
 TEL:011-372-7860
 FAX:011-376-8573
- 7** 社会福祉法人
**北ひろしま福祉会
 サポート事業本部**
 〒061-1123
 北広島市朝日町2丁目6番地9
 [サポート事業本部内]
 障害者就労支援事業(委託)
障がい者就労支援センター めーでる
 指定特定・指定一般相談支援事業
 指定障害児相談支援事業所
障がい児・者支援センター めーでる
 TEL:011-372-5525
利用相談・サービス連携センター
 TEL:011-373-7108
 居宅介護支援事務所
ケアプランセンター 東部緑の苑
 TEL:011-373-8118
- 8** 指定障害福祉サービス事業所
北広島デイセンター
 〒061-1123
 北広島市朝日町4丁目4番地11
 TEL:011-372-7832
 FAX:011-373-8857
- 9** 指定共同生活援助事業所(介護サービス包括型)
グリーンパーク北ひろ
 〒061-1121
 北広島市中央2丁目6番地3
 TEL:011-373-5599
 FAX:011-373-5598
 [グリーンパーク北ひろ内]
 居宅介護等事業所
フィットマン
 TEL:011-370-1727
 FAX:011-373-5598
 児童発達支援・放課後等デイサービス
つなぐ
 TEL:011-370-1730
 FAX:011-370-1731
- 10** 指定障害福祉サービス事業所
北広島コラボ
 〒061-1112
 北広島市共栄276番地46
 TEL:011-807-0508
 FAX:011-807-7320
機能訓練センター
 TEL:011-807-7106
 FAX:011-807-0568



社会福祉法人 北ひろしま福祉会

〒061-1123 北海道北広島市朝日町2丁目6番地9
 TEL:011-373-8809 FAX:011-373-8673

北ひろしま福祉会

検索